

「三菱東京UFJ銀行」の銀行名を一括置換する手順書

はじめに

当手順書では、「三菱東京UFJ銀行」の銀行名変更に伴い、『OFFICE BANK 21』の振込先情報マスタ、社員情報マスタの銀行名を1件ずつ手修正するのではなく、一括で置換する操作方法を説明します。

<手順の概要>

- 1 振込先情報マスタ、社員情報マスタをファイルに出力する
- 2 出力したファイル内の銀行名を一括置換する
- 3 振込先情報マスタ、社員情報マスタを一括削除する
- 4 2のファイルから、振込先情報マスタ、社員情報マスタを受け入れる

操作方法是、「グループを使用していない場合」と「グループを使用している場合」で異なりますので、該当する方をご参照ください。



注 意

○グループを使用していて、以下のいずれかの条件に該当する場合は、一括置換できません。マスタごとに手修正してください。

- ・グループに所属していない振込先情報マスタ、社員情報マスタがある
- ・複数のグループに所属している振込先情報マスタ、社員情報マスタがある

○念のため、[随時処理]-[データコピー処理]メニューで、バックアップを作成してから行ってください。

以下の設定で作成します。

- ・データ領域指定：個別選択
- ・プログラム名称(データ種類)
：総合給与振込(マスタ、振込データ)

● 操作方法 <グループを使用していない場合>

1 振込先情報マスタ、社員情報マスタをファイルに出力する

[総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューで、振込先情報マスタをファイルに出力します。

- ① [総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューを選択します。
- ② [総合振込・振込先情報登録]画面が開きますので、[印刷等] (F2) キーを押します。
- ③ [総合振込・印刷・転送条件指定]画面が開きますので、以下のとおり設定して、[OK] ボタンをクリックします。

「汎用データ受入メニューで受け入れられる形式で出力する」にチェックを付けます。

- ④ [振込先情報登録・印刷・転送]画面が開きますので、[転送] ボタンをクリックします。
- ⑤ [転送条件指定]画面が開きますので、以下のとおり設定して、[実行] ボタンをクリックします。

「カンマ区切」または「タブ区切」を選択します。

振込先情報マスタであることがわかるファイル名を指定します。

- ⑥ [総合振込・振込先情報登録]画面の[閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

[給与賞与振込]-[マスタ登録]-[社員情報登録]メニューで、同様の操作方法で、社員情報マスタをファイルに出力します。

2 出力したファイル内の銀行名を一括置換する

- 1 で出力した各ファイルをメモ帳や表計算ソフトなどで開き、以下のとおり置換します。

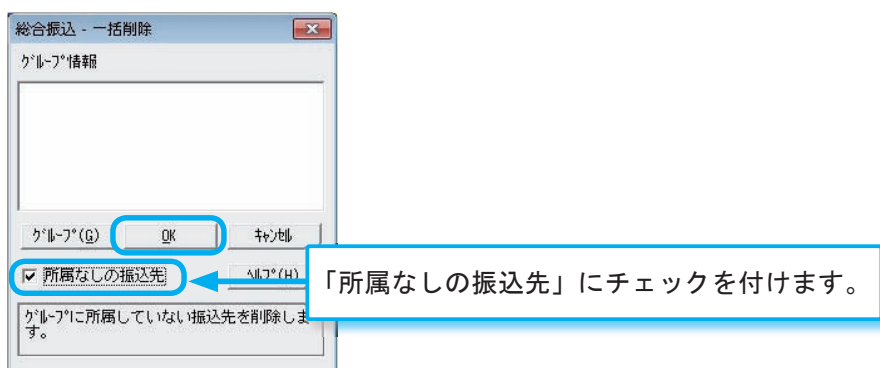
- ・ 「ミツビシUFJ」 → 「ミツビシ・エフ・エイ」
- ・ 「三菱東京UFJ銀行」 → 「三菱UFJ銀行」

3 振込先情報マスタ、社員情報マスタを一括削除する

[総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューで、振込先情報マスタを一括削除します。

- ① [総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューを選択します。
- ② [総合振込・振込先情報登録]画面が開きますので、[一括削] (F3) キーを押します。

③ [総合振込・一括削除] 画面が開きますので、以下のとおり設定して、[OK] ボタンをクリックします。



④ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

⑤ 完了メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

⑥ [総合振込・振込先情報登録] 画面の [閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

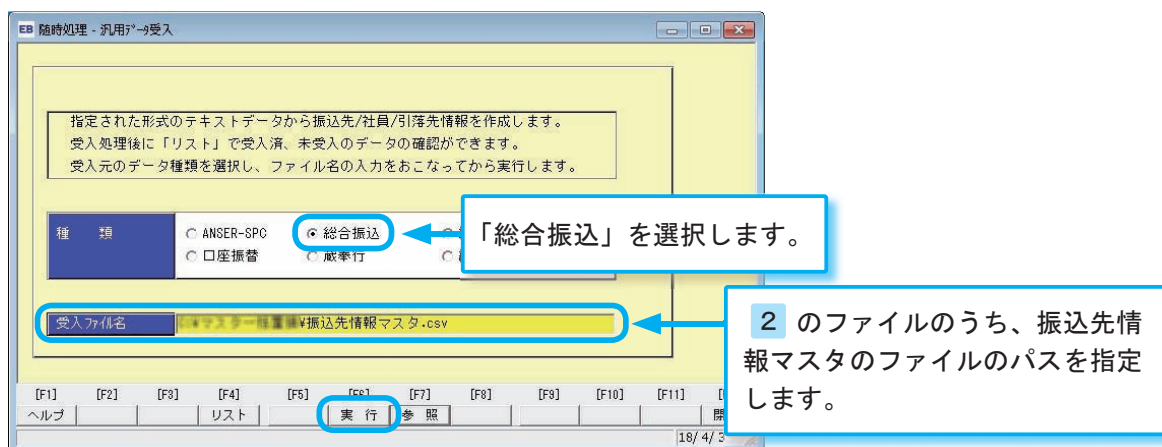
[給与賞与振込]-[マスタ登録]-[社員情報登録] メニューで、同様の操作方法で、社員情報マスタを一括削除します。

4 2 のファイルから、振込先情報マスタ、社員情報マスタを受け入れる

[随時処理]-[汎用データ受入] メニューで、振込先情報マスタ、社員情報マスタを受け入れます。

① [随時処理]-[汎用データ受入] メニューを選択します。

② [随時処理・汎用データ受入] 画面が開きますので、以下のとおり設定して、[実行] (F6) キーを押します。



③ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

④ 受入結果が表示されますので、[閉じる] ボタンをクリックします。

⑤ 「種類」で「給与賞与振込」を選択し、②～④の手順で社員情報マスタを受け入れます。

⑥ [随時処理・汎用データ受入] 画面の [閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

以上で、グループを使用していない場合の一括置換の操作は完了です。

※複数のデータ領域を管理している場合は、データ領域ごとにバックアップの作成および 1 ～ 4 の手順をくり返してください。

● 操作方法 <グループを使用している場合>

1 振込先情報マスタ、社員情報マスタをファイルに出力する

[総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューで、振込先情報マスタをファイルに出力します。

- ① [総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録]メニューを選択します。
- ② [総合振込・振込先情報登録]画面が開きますので、[印刷等] (F2) キーを押します。
- ③ [総合振込・印刷・転送条件指定]画面が開きますので、[グループ] ボタンをクリックします。
- ④ [グループ選択]画面が開きますので、1つ目のグループを選択して、[追加] ボタンをクリックした後に、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑤ [総合振込・印刷・転送条件指定]画面で、以下のとおり設定して、[OK] ボタンをクリックします。

「汎用データ受入メニューで受け入れられる形式で出力する」にチェックを付けます。

- ⑥ [振込先情報登録・印刷・転送]画面が開きますので、[転送] ボタンをクリックします。
- ⑦ [転送条件指定]画面が開きますので、以下のとおり設定して、[実行] ボタンをクリックします。

「カンマ区切」または「タブ区切」を選択します。

1つ目のグループの振込先情報マスタであることがわかるファイル名を指定します。

- ⑧ 2つ目以降のグループについても、②～⑦の手順を繰り返し、ファイルに出力します。
- ⑨ [総合振込・振込先情報登録]画面の [閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

[給与賞与振込]-[マスタ登録]-[社員情報登録]メニューで、同様の操作方法で、社員情報マスタをファイルに出力します。

2 出力したファイル内の銀行名を一括置換する

- 1 で出力した各ファイルをメモ帳や表計算ソフトなどで開き、以下のとおり置換します。

- ・ 「ミツビシウキョウUFJ」 → 「ミツビシ・エフエフエイ」
- ・ 「三菱東京UFJ銀行」 → 「三菱UFJ銀行」

3 振込先情報マスタ、社員情報マスタを一括削除する

[総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録] メニューで、振込先情報マスタを一括削除します。

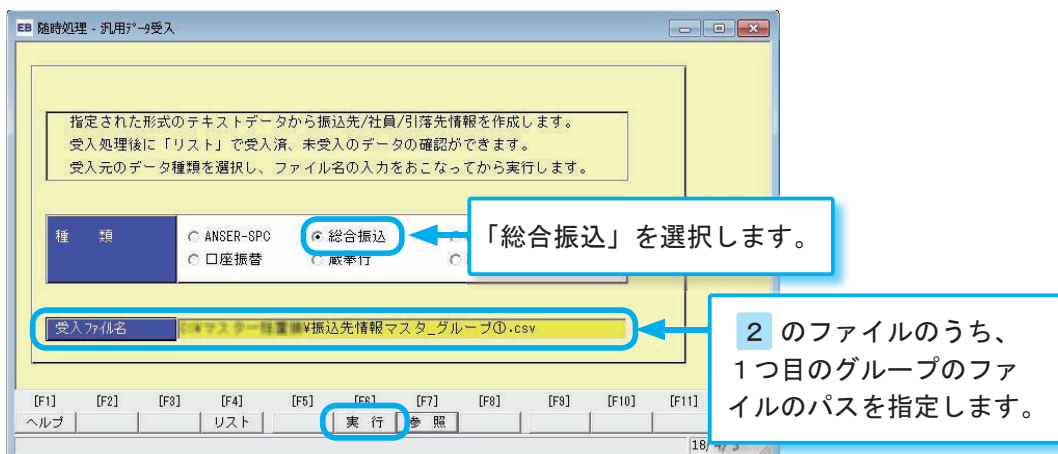
- ① [総合振込]-[マスタ登録]-[振込先情報登録] メニューを選択します。
- ② [総合振込・振込先情報登録] 画面が開きますので、[一括削] (F3) キーを押します。
- ③ [総合振込・一括削除] 画面が開きますので、[グループ] ボタンをクリックします。
- ④ [グループ 選択] 画面が開きますので、すべてのグループを選択して、[追加] ボタンをクリックした後に、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑤ [総合振込・一括削除] 画面の [OK] ボタンをクリックします。
- ⑥ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑦ 完了メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑧ [総合振込・振込先情報登録] 画面の [閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

[給与賞与振込]-[マスタ登録]-[社員情報登録] メニューで、同様の操作方法で、社員情報マスタを一括削除します。

4 2 のファイルから、振込先情報マスタ、社員情報マスタを受け入れる

[随時処理]-[汎用データ受入] メニューで、振込先情報マスタ、社員情報マスタを受け入れます。

- ① [随時処理]-[汎用データ受入] メニューを選択します。
- ② [随時処理・汎用データ受入] 画面が開きますので、以下のとおり設定して、[実行] (F6) キーを押します。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ④ [グループ 選択] 画面が開きますので、1つ目のグループを選択して、[追加] ボタンをクリックした後に、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑤ 受入結果が表示されますので、[閉じる] ボタンをクリックします。
- ⑥ 2つ目以降のグループについても、②～⑤の手順を繰り返し、振込先情報マスタを受け入れます。
- ⑦ 「種類」で「給与賞与振込」を選択し、②～⑥の手順で社員情報マスタを受け入れます。
- ⑧ [随時処理・汎用データ受入] 画面の [閉じる] (F12) キーを押して、メニューを終了します。

以上で、グループを使用している場合の一括置換の操作は完了です。

※複数のデータ領域を管理している場合は、データ領域ごとにバックアップの作成および 1 ～ 4 の手順をくり返してください。